

令和8年度 武生東高等学校スクールプラン

業務改善のための取組	人権教育の推進
・業務や活動の重複を見直し、効率化・適正化を図りながら、教育活動を継続可能なものにする。	・総合的探究・国際交流の時間をはじめとする様々な教育活動を通じて、他者への思いやりの心を育む。

【重点目標①】 教育課程・学習支援	【重点目標②】 進路支援	【重点目標③】 生徒支援	【重点目標④】 グローバル・サイエンス	【重点目標⑤】 外部との連携
・授業力の向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。	・基礎的汎用的能力※を高めていくための、主体的・探究的な姿勢を育成する。 ※「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」	・生徒会活動や学校行事、部活動等への主体的参加を促進する。 ・心身の健康や安全に関する自己管理能力を高め、社会で生き抜く力を育成する。	・探究活動や国際交流、学際的な学びを通して、社会の課題を多方面から分析し、持続可能な社会の実現へ向けた意識を育成する。	・教育活動の積極的発信を通して、地域や保護者との連携を促進する。 ・世代を超えた学び合いや研究機関との連携を促進する中で、学ぶ喜びの醸成に努める。



【具体的取組と目標】	【具体的取組と目標】	【具体的取組と目標】	【具体的取組と目標】	【具体的取組と目標】
<p>a:「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を推進する。」</p> <p>目標:授業の中で、主体的・対話的で深い学びができたと感じた生徒(80%以上)</p> <p>b:「教科連携を通して、多角的な視点で学ぶ授業を実践する。」</p> <p>目標:教科連携による授業により、多角的視点を身につけることができたと考えた生徒(70%以上)</p>	<p>a:「目標とすべき将来の生き方・進路を考えて進路計画を立てるとともに、その実現に向けた取組を進める。」</p> <p>目標:目標が明確になった生徒(80%以上)</p> <p>b:「自己の適性を理解し、興味関心ある分野の探究を深める意識を醸成する。」</p> <p>目標:自己理解ができる認識をもつ生徒(80%以上)</p>	<p>a:「生徒自らが、校則を含めた現状の問題点を見だし、仲間と協働して、学校生活の向上を目指す。」</p> <p>目標:生徒会主導のもと、学校生活が向上したと考える生徒(70%以上)</p> <p>b:「LHや避難訓練等を通し、教員・生徒共に防災意識を高める。」</p> <p>目標:避難経路や避難場所など、被災時にどのように行動すべきかを確認出来たと考える生徒(70%以上)</p>	<p>a:「探究活動に取り組むことで生徒の論理的な思考を育み、自分の考えを発信する力を育成する。」</p> <p>目標:探究活動に積極的に取り組んだ生徒(70%以上)</p> <p>b:「姉妹校交流・英語セミナー等の学校行事を通して、異文化交流活動を推進する。また、授業やフロンティアタイム等において理数への興味をもち、探究活動を推進する。」</p> <p>目標:参加者満足度(80%以上)</p>	<p>a:「オープンスクール、学校説明会等の実施やわかりやすいパンフレット、ホームページの作成により、学校教育活動の広報の充実に努める。」</p> <p>目標:オープンスクール、学校説明会等で、学校の教育活動の内容を理解できた割合(80%以上)</p> <p>b:「Hino・Quest(総合的探究)において世代を超えた交流の場を増加する。」</p> <p>目標:大学教員などから助言・支援を受け、探究的な学習・進路学習などに活かすことができた生徒(70%以上)</p>